

南ア月報
(2021年8月)

【内政】

- ラマポーザ大統領、内閣改造を発表
- 国家的災害事態の延長

【外政】

- SADC 首脳会合及び SADC 政治・防衛・安全保障機構トロイカ首脳会合
- バングラデシュ外務大臣の南ア訪問
- ラマポーザ大統領のザンビア大統領就任式出席
- ラマポーザ大統領とパンドール国際関係・協力大臣のドイツ訪問

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 景況感
- 製造業生産高
- 失業率

<出来事>

- イノク・ゴドングワナ氏が新財務大臣に就任
- ワクチン展開フェーズ3を開始

【警備】

- 南ア治安情勢（犯罪統計 2021 年度第 1 四半期）

1 内政

●ラマポーザ大統領、内閣改造を発表

5日、ラマポーザ大統領は内閣改造を行い、新たに就任する閣僚、省の改編等について発表した。ラマポーザ大統領は、今回の内閣改造は、ワクチン接種プログラムの加速化、7月の騒乱からの平和と安定確保のための取組等を効果的に遂行するためのものであると述べた。

●国家的災害事態の延長

12日、南ア政府は国家的災害事態 (the national state of disaster) の1ヵ月延長 (2021年9月15日まで) を発表した。

2 外政

●SADC 首脳会合及び SADC 政治・防衛・安全保障機構トロイカ首脳会合

8月17日～18日、第41回南部アフリカ開発共同体 (SADC) 首脳会合がマラウイで開催された。同会合に出席したラマポーザ大統領は、SADC 調停役としてレソトに関する SADC 決定の実施状況報告書を提出した。同会合は、ラマポーザ大統領の貢献及び引き続きの仲介を賞賛し、SADC 調停役の任期を次回首脳会合まで延長された。また、ラマポーザ大統領は、SADC 政治・防衛・安全保障機構 (オーガン) 新議長に選出された。

●バングラデシュ外務大臣の南ア訪問

8月23日、ディディザ農業・土地開発・地方開発大臣は、南アを訪問中のモメン・バングラデシュ外務大臣と実務会議を行い、農業分野における協力強化を目標とする二国間覚書の締結に向けたテクニカル・チームの設立について合意した。また、翌24日、パンドール国際関係・協力大臣はモメン外務大臣と会談し、両国の貿易と経済関係のさらなる拡大についての意見交換や、政治・経済的な関係強化のために、今後も多岐にわたる交流・協力を行うことで合意した。

●ラマポーザ大統領のザンビア大統領就任式出席

8月24日にラマポーザ大統領は、ヒチレマ・ザンビア共和国大統領の就任式に出席した。本式典に先駆けて、ラマポーザ大統領はヒチレマ大統領に対して、今回の大統領選挙の成功が、ザンビア、さらには南部アフリカ地域における安定と発展の継続の基盤となるとして、南ア国民を代表して祝意を伝えた。

●ラマポーザ大統領とパンドール国際関係・協力大臣のドイツ訪問

8月26日～27日、ラマポーザ大統領とパンドール国際・関係協力大臣は、ドイツで開催された G20 「アフリカとのコンパクト (CwA)」をはじめ、関係会合に出席した。2017年に設立された CwA は、当時の G20 議長国ドイツ、AU 議長国コンゴ(民)と南アが議長を務める。CwA では G20 投資会議と首脳会合が開催され、アフリカにおけるビジネス環境の改善と投資拡大の方法について議論がおこなわれた。さらに、ラマポーザ大統領は、独-アフリカビジネス協会主催の CEO ラウンド・テーブルに出席し、南ア政府として経済改革による投資拡大の取り組みを行う旨を発表した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2021年7月の年間消費者物価インフレーション率は4.6%と前月(4.9%)に比べ0.3%下降、消費者物価指数(CPI)は前月から1.1%上昇した。(南ア統計局、8月18日)

●為替レート

2021年8月31日付(南ア準備銀行)

7.5565 ランド/円

14.5371 ランド/米ドル

17.1937 ランド/ユーロ

●景況感

2021年7月の景況感指数は93.2と前月(96.2)に比べ3.0低下。7月に南ア国内の一部地域で発生した一連の騒乱が社会の包括性、成長、雇用の創出に悪影響を与えた。(南ア商工会議所、8月11日)

●製造業生産高

2021年6月の製造業は、前年同月比12.5%増。主なプラス要因は、自動車及び輸送機器関連製品で84.1%増。鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で19.2%増。木材及び木材製品、紙、出版及び印刷で22.8%増。食料品及び飲料で5.9%増。家具その他製品で73.5%増。

また過去3ヶ月(2021年4月～2021年6月)の季節調節後生産高は2021年1月～3月の3ヵ月から1.0%減。製造業10部門中の6つの部門で生産高減となった。(南ア統計局、8月10日)

●失業率

南ア統計局は2021年第2四半期の失業率を34.4%と発表。2008年の調査以来、最も高い数字だった前期(2021年第1四半期)の失業率(32.6%)を更新した。その主な理由としては、前期に比べ就業者数が5万4千人減少し、失業者が58万4千人増加したことによる。セクター別では、フォーマルセクターが37万5千人減少、インフォーマルセクターが18万4千人、農業が6万8千人、家事手伝いが6万7千人増加。生産年齢人口(15歳から64歳)に占める就業率は37.7%となった。(南ア統計局、9月7日)

<出来事>

●イノク・ゴドングワナ氏が新財務大臣に就任

8月6日内閣改造が行われ、ティト・ムボウェニ氏の後任として、南部アフリカ開発銀行委員長でアフリカ民族会議(ANC)経済政策担当のイノク・ゴドングワナ氏が就任した。閣僚人事が発表された8月5日、ムボウェニ氏の辞任に対する不安から、ランドが一時2.5%安となった。ゴドングワナ氏は、ムボウェニ氏の持続可能な財政政策を継続することを表明。

●ワクチン展開フェーズ3を開始

8月20日から、南アは国内ワクチン展開フェーズ3（対象：18歳以上の者）を開始。これにより、すべての成人のワクチン接種が可能になった。8月31日時点での累計ワクチン投与数は、延べ12,568,525回分、少なくとも1回接種完了者9,418,185名、接種完了者5,985,293名（ジョンソン・エンド・ジョンソン社ワクチン1回接種もしくはファイザー/ビオンテック社ワクチン2回接種）。

4 警備

●南ア治安情勢（犯罪統計2021年度第1四半期）

8月20日、南ア国家警察より2021年度第1四半期（2021年4月～6月）の犯罪統計の発表があった。ほぼ全ての罪種・手口において二桁の増加がみられたが、前年同期は当地のロックダウン規制が最も厳しかった時期と重なるため、単純比較できない。

コロナ禍前の前々年同期と比較した場合、店舗などの非住居対象侵入盗、家畜盗において減少がみられたものの、殺人、殺人未遂、性犯罪、暴行、カージャック、トラックジャック、放火など凶悪な犯罪は増加しており、治安状況は悪化しており予断を許さない。